



名張市立百合が丘小学校

百合小だより



令和6年2月1日発行

3学期がスタートして早や1月が終わり、今日からはいよいよ2月が始まります。『1月は行（い）く、2月は逃（に）げる、3月は去（さ）る』・・・昔からそのように言われている3学期は、あっという間に過ぎていくものです。

6年生は小学校最後の総まとめの大事な時期です。そして、1年生から5年生も、学年のまとめの時期です。一日一日を大切に、精一杯取り組んでほしいと思います。

にこにこ集会が開かれました

1月18日（木）体育館で、今年3回めの「にこにこ集会」が開かれました。

はじめに児童会の代表の子から、「忍者になって、静かに話を聞きましょう」という集会のめあてを発表してくれました。低学年の子どもたちにもわかるように、舞台上で大きな声で発表してくれました。

給食委員会からは“給食に関するクイズ”と“残食調査”の結果を報告してくれました。6年1組・6年2組・4年2組・3年2組が残食が少なかったようです。おいしく毎日子どもたちの栄養を考えて作ってくださっている給食です。みんなでおいしくいただいて、同時に残食が減っていけばいいですね。

続いて、放送委員会からは、百合小クイズでした。

そしてなかま委員会からは、「なかま集まりゲーム」の予告と全校児童への参加呼びかけ、そしてゲームの説明をしてくれました。説明がとても楽しそうだったので、聞いていた子どもたちはそれぞれの場所で集まり始めてしまうほどでした。

楽しい集会をありがとうございました。

ますます、全校児童が仲良く楽しく感じる学校になってほしいと思っています。



6年生三校合同人権学習開催

1月15日（月）かつて名張市でALTをしていたいたベニー先生を招いて、百合が丘小・錦生赤目小・箕曲小の6年生が百合が丘の「名張市教育センター」に集まり、合同の人権学習を行いました。ベニー先生のお話は、「人種差別」「LGBTQ」のことなどすごくわかりやく話してくださいました。

その後、グループに分かれて各学校の人権学習のことなどを交流しました。当日は、藤本佐利さんも会場に足を運んでくださり、6年生の子どもたちにとっては出会い直しの貴重な経験となるとともに、春には赤目中学校で一緒になる仲間が集うとても意義深い会となりました。



学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

結果（抜粋）をお知らせします。

楽しく学校に登校している児童の割合が8割を超えていますが、そのように思っていない児童も一定数いることがわかってきました。これからも安全で安心できる学校・楽しく学べる学校づくりを進めていきます。

家庭学習が習慣化している児童は8割を超えている結果となりましたが、主体的な家庭学習のあり方について、引き続き学校と家庭が協働して進めていく必要があります。「授業の内容がわかる」と回答した児童の割合は9割強でした。わかる授業づくりに今後も取り組んでいきます。「進んであいさつをしている」児童の割合も増えてきました。朝の校門であいさつ運動をいただいている地域の皆さんからは「あいさつの声がだんだんと大きくなってきている」とお褒めの言葉を聞きました。さらに浸透するよう取組を進めていきたいと考えています。

